

野 沢 菜

1 畑の準備

土作り

種まきの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまきま
す。しっかりと土壌混和をしておきましょう。

※連作障害が発生するため連作は避け、輪作（同じ土地でマメ科、ナ
ス科、ウリ科など異なる科の植物を順につくること）をしましょう。

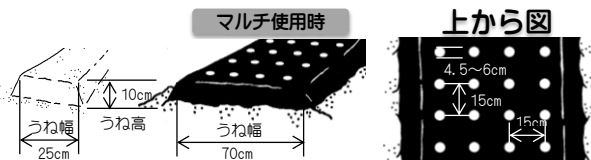
- ・苦土石灰：
1㎡あたり100～200g
- ・JAファーム有機堆肥：
1㎡あたり2～3kg



元肥・うね立て・マルチ張

種まきの1週間前までに元肥を畑全面にまき、土壌混和しうね立てを行いま
す。マルチを張る場合はマルチを張り、穴の無いものは穴を開けます。

※根こぶ病対策をする場合は、種まき前（マルチを張る場合はマルチを
張る前）に殺菌剤をまいて深さ15cmくらい土壌混和しましょう。



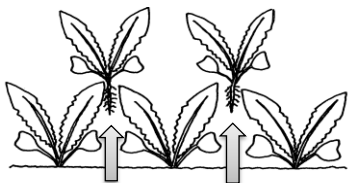
- ・JAファーム葉もの野菜専用肥料：1㎡あたり180～220g(ひと握り約40～50g)
- ・野沢菜・タマネギ用穴あき黒マルチ：95cm×50m(15×15)4条

4 間引き

間引き1回目

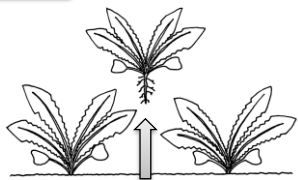
本葉2枚くらいの時が、
第1回目の目安です。
株と株の間隔が3～5cm
になるくらいを目安に
間引きしましょう。

※マルチを使用する場
合は、この段階で1穴に
1株になるようにしま
しょう。



間引き2回目(最終)

最終間引きは、本葉3～4
枚頃で、その時の株間は
12～15cmになるくらいを
目安に間引きましょう。

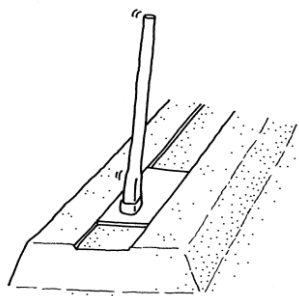


間引きワンポイント!

大株に仕上げたい場合は株と株の間を20～25cmくらいにしましよ

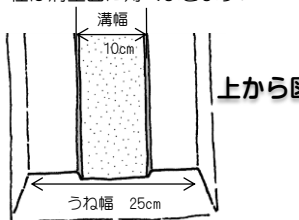
2 種まき

8月下旬～9月上旬に種ま
きを行う!

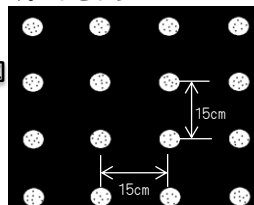


鍬や板などを使って、うね
に浅く溝をつけ種をまきま
す。溝の幅は10cmくらいに
しましょう。(鍬を使うと
12cmくらいになります。)種
は溝全体に薄くまきま
す。

種は溝全面に薄くまきま
す。



マルチを使用する場合は、
種1つまみをマルチの穴に
薄くまきま
す。



種をまいたら、種が隠れる程度に薄く土をかけましょう。

5 防除

病害虫防除は予防が大切なので定期的に行いましょう。
農薬散布は使用時期、回数を厳守する他、栽培圃場周辺からの飛
散防止にも注意しましょう。

主な病害虫

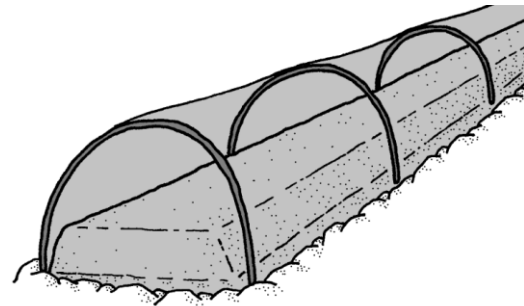
- ・アブラムシ
アブラムシはモザイク病(ウィルス病)を媒介する
ので、気をつけましょう。
発芽直後から徹底すると大きな効果がみられます。
- ・ヨトウムシ
ヨトウムシは「夜盗虫」と書き、読んで字のごとく
夜行性で、夜に葉を食害します。
ふ化直後の葉裏に群棲している時に防除すると効果的
です。
- ・白さび病
秋期の長雨等が発病を助長します。
被害莖葉は早めに処分する。
早期発見に努め、発病初期に薬剤散布を行う。

※農薬は使用方法をよく読んで正しく使いましょう。

3 防虫ネットをかける

モザイク病予防(ウィルス病)のために防虫ネットをかけます。
トンネル支柱は210cmのダンボールを使い、防虫ネットの裾は土
を被せておきましょう。

モザイク病の原因はアブラムシが媒介する事がほとんどです。
種まき後すぐトンネルをつくり害虫の侵入を防ぎましょう。



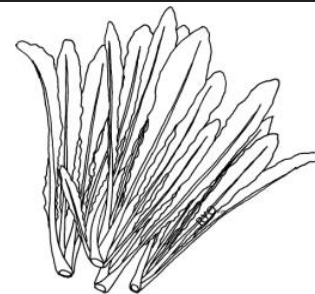
防虫ネットワンポイント!

防虫ネットは収穫の1～2週間前にはずしましょう。そうす
る事で霜にあわせる事ができます!
※詳しくは収穫ワンポイントにて!

6 収穫

収穫適期

- ・播種後7週間くらいたち、株が大きく育ってきたら収穫し
ます。
- ・収穫は、根ごと引き抜いた後に、カブの部分を切り落とし
ます。カブもまた利用できます。
- ・寒さには強く-2～3℃では枯れることなく越冬し、来春には
花芽を収穫できます。



収穫ワンポイント!

冬の漬物用は、霜に2～3回あわせた後に収穫すると甘みがでま

| | |
|------|----------|
| 科名 | アブラナ科 |
| 原産地 | 日本 |
| 連作障害 | あり(3～5年) |

制作
JAファーム 野菜部会
(無断転載禁止)